



2005年度に発足した“住まいる”プロジェクトは、福祉住環境コーディネーターの資格を持つ学生たちが、実際の住宅で高齢者、障害者の住環境を検証したい、と始めたプロジェクトです。学生代表の五十嵐君（福祉経営学部3年・埼玉県出身）にインタビューしました。



住宅の「てすり」の調査

地域コミュニティを大切に、防災と福祉のネットワーク型まちづくりへ

プロジェクトの正式の名前は？

「美浜発☆住まいるプロジェクト」と言います。美浜発、にこだわりがあって、ここは学生の第2のふるさとと私たちは考えています。故郷は誰にとっても大事で、ここで福祉住環境の資格を取ったことを契機に、美浜町で“福祉のまちづくり”を考えてみよう、となったのです。



全員福祉住環境コーディネーターの資格を持っているのですか？

最初のメンバーは全員資格をとりました。プロジェクトの指導をお願いした福祉経営学部教授の関口先生のゼミ生以外で後から参加した何人かはこれから挑戦です。

住宅改造プランを立てたりすることができるようになりました。

住宅改造を体験するといっても、実際に経験するのは大変ですね。

ええ、学生がフラッと行って家を見せて、といっても駄目なので、11月の美浜町産業祭りで活動状況を展示したり、防災グッズをそろえて利用方法を説明したり、町の方に認知してもらおうようにしました。この時のアンケートは600通あまり回収しました。

プロジェクトをやってみて、一番良かったことは？

何と言っても「コミュニケーション能力」を高められるということです。役場の方、地域のお年寄りの方など様々な方に会って、言いたいこと、お願いしたいことをきちんと伝えられる、相手の話を正しく聞けるか、ニュアンスとか、いろいろ勉強になりました。学生同士と違って、ずいぶん緊張しましたが。

協力はすすみましたか？

そうですね。町社協やボランティアの方々を知り合いになり、その協力や紹介で実際に

ありがとうございます。これからの活動に期待しています。

(インタビューには3年の瀬古さん、2年の渡辺君も参加してくれました。)

プロジェクトの活動日誌

7月 1日	プロジェクト発足
9月22日	積水ハウス「納得工房」(京都)見学
9月28日	美浜町第1回ワークショップ(町役場)
10月 5日	第2回ワークショップ(美浜町社会福祉協議会 清水氏、加藤氏)
10月13日	リフォーム相談会無料手すり取り付け事業
10月20日	日本福祉大学防災の日に参加。
11月13日	「防災リーダーの会」で五十嵐代表プロジェクトの活動報告
11月13日	現代GP中間報告会報告
11月13日	美浜町産業祭りに参加
2月14日～	老人調査(左下)を実施

美浜町の協力で地域調査を実施しました。



2月中旬から2月28日まで、美浜町民生課と本学現代GPプロジェクトが共同で「高齢者にやさしいまちづくり推進のためのアンケート調査」を実施しました。調査対象は美浜町老人クラブの方たち。質問票の配付は町と老人クラブが担当し、回収は郵送によりました。

設問数は46。生活問題、緊急時のこと、防災、住宅問題など。質問用紙は住まいるのwebsiteに登載します。

対象数は約4500。3月1日の回収数は2100件に上りました。学生が調査票のクリーニング作業を行いました。

調査にあたり、福祉経営学部・後藤順久教授に質問票の設計、調査方法の検討等の指導を仰ぎました。

「地域学」の授業記録集をご希望の方に

経済学部2年生配当科目の「地域学」授業実践記録を刊行しました。

シラバス、講義中に配付した資料、学生のレポート、感想文など授業研究に役立つ貴重な授業実践記録です。ご希望の方は日本福祉大学経済学部まで。

